

大村市新庁舎建設基本設計(案)のパブリックコメントの意見内容と市の考え方

番号	区分	ご意見・ご質問	市の考え方
1	配置、外構計画	駐車場から庁舎入口まで、極力雨や陽射しを防げるような屋根や庇の設置についてご検討下さい。	来庁者駐車場から庁舎出入口までの屋根や庇を設置する予定はありませんが、車で来庁される車いす利用者等のための「車いす駐車場」及び高齢者や妊婦等のための「広め駐車場」に屋根を設置するよう予定しています。
2	配置、外構計画	路線バスを敷地内に誘導すると、来庁者との車の交差が出て危険。道路に駐車場所を確保したがいい。	路線バスは市道上に駐車場所を確保することが難しいことや周辺道路の渋滞、来庁者の利便性を考え、バス事業者と協議し、敷地内に停車するよう予定しています。 路線バス及び来庁者と一般車両の交差については、事故などの危険性を無くすよう安全対策を引き続き検討します。
3	配置、外構計画	敷地内の交通安全。公用車駐車場と庁舎間に屋根が設置されているが、来庁者駐車場内の通路部や、少なくとも庁舎と駐車場入口の通行帯部分は屋根部を設けてもいいのでは？無い場合、駐車場内歩行者や、通行帯横断者の左右確認が疎かになりがちで、雨天時の安全確保のためにもあった方が良いと思う。	来庁者駐車場から庁舎出入口までの屋根や庇を設置する予定はありませんが、車で来庁される車いす利用者等のための「車いす駐車場」及び高齢者や妊婦等のための「広め駐車場」に屋根を設置するよう予定しています。
4	配置、外構計画	・庁舎全体を3～5m程度、現計画より南にずらした方が望ましい。 空港からのアプローチはまさに大村の顔となります。橋を渡り、まず目に入るのは北側道路の空間です。残念ながら基本設計案において南側に駐車場を確保する為、庁舎が北側ギリギリまで寄っており、工業高校との間に圧迫感を感じます。設計冒頭で「公園と一体化し街と繋がり、公園の中にあるような庁舎」と謳われていますが、決してそうはなっていません。設計案より庁舎を南側に若干ずらす事で、北側の空間にゆとりを持たせたらどうでしょうか。北側の景観にも配慮して将来の街づくり望んでもらいたい。駐車場に関しては、コンビニ予定地を原案のように駐車場にすれば十分確保できます。コンビニについては後で触れます。北側道路が魅力的になれば、工業正門前道路との繋がりもできます。市役所移転により交通量が増え、人の賑わいが期待できるのは、工業正門前の道路です。歩行者の多くはここを通り来庁されます。何にしる敷地の中で建物をどの位置にどのような形で建てるべきかは、位置エネルギーの感覚的なバランスを考慮すべきです。北側ギリギリは敷地に対する建物のバランスが良くありません。東西南北どの方向も気持ちよく設計すべきで、利便性以上に優先させるべき観点だと考えます。	庁舎棟、倉庫棟の配置については、敷地の形状や面積に限りがあるため、南側へずらす予定はありません。
5	配置、外構計画	・庁舎を南側にずらす事で、北側にバス停が設置できる。庁舎内をバスが迂回すべきではない。 バスが庁舎敷地内を迂回するのは、極めて危険であり時間の無駄です。狭い東口にバスを停車させ、人が乗り降りする近くを一般車が走る動線は、事故のリスクが大きく避けるべきです。北側にゆとりを持たせ、バス停を北側道路のできるだけ西側に設置したらどうでしょうか。そうすればバスで来られた歩行者は庁舎西側のメインエントランスから気持ちよく入庁する事ができます。ワンストップ窓口を考えると東口から入るよりメインエントランスから入った方が来庁者の動線も短くなります。現設計の東口は、東西を貫通させる避難口や裏口のニュアンスが強いと思います。気にされないかもしれませんが、風水でも建物の北東は鬼門であり、多くの人や車の出入りは良くありません。	路線バスは市道上に駐車場所を確保することが難しいことや周辺道路の渋滞、来庁者の利便性を考え、バス事業者と協議し、敷地内に停車するよう予定しています。 路線バス及び来庁者と一般車両の交差については、事故などの危険性を無くすよう安全対策を引き続き検討します。
6	配置、外構計画	・西側駐車場は危険なので作らない。歩行者と車の動線は明確に分離する。 基本設計案で最も目を疑ったのが、3ページの歩行者と車の動線です。特にメインエントランスへの歩行者動線を車が横切るのは避けてほしいと考えます。とても市民の安全を考慮したとは思えません。市の説明はエントランス付近に駐車場が欲しいとの事ですが、危険回避の為、エントランス付近はできるだけ駐車させない、というのが正しい考え方です。どうしてもエントランス付近に駐車しないと困る方はタクシーの車寄せスペースを利用できます。その後で運転手は南側駐車場を利用すればすれば良いのです。仮に西側駐車場に空車表示を設置しても、満車になった途端に車がエントランス通路を塞ぐ事になります。特に暑くなると誰もがエントランス近くに駐車したいので満車でも南側駐車場に移動しようとはせず、空車になるまで待つ車は多いと想像できます。そうすればエントランスで車が渋滞し、事故に繋がるリスクが高くなります。事故はまさかが重なり起こるので、市は利便性よりも市民の安全を最優先に考えるべきです。メインエントランスの歩行者動線を車が横切る例は、少なくとも県内にありません。県庁も長崎市役所も佐世保市役所も諫早市役所もメインエントランスの歩行者動線は車道と完全分離されています。常識ではないでしょうか。	車で来庁される高齢者等への配慮として、エントランスに近い西側に来庁者駐車場を設けています。 なお、令和4年度市民アンケート調査によると、来庁者の交通手段の中で徒歩は全体の約2%となりますが、エントランス近くの歩行者動線と車両動線の交差については、事故などの危険性を無くすよう、安全対策を引き続き検討します。
7	配置、外構計画	・庁舎南側に沿った動線は車は侵入できないようにし、緑の歩道にする 南側駐車場の車の動線を見ると、工業側から入り庁舎南側を抜け、そのままサンセット通りに抜けられます。空港入り口交差点の信号待ちをかわす為に、その動線走る車やバイクがあるでしょう。彼らは急いで走ります。南側駐車場に車を止めた歩行者は、その車道を横断しなければ庁舎に入れないのです。このような危険を回避する為に、安全な動線を確保する必要があります。南側駐車場と庁舎の間は車は通れない様にしたら如何でしょうか。南側駐車場には東ゲートと西ゲートを設け、どちらのゲートからでも出れるようにすれば工業側へもサンセット通りへも出れます。ゲートの位置は東西とも更に南よりが望ましいと思います。上記により庁舎南側で計画されていた二車線の車道空間は中止の方向で検討下さい。そしてそこには歩行者の安全な動線が確保できます。駐車台数も増やせますが、できれば庁舎南側に沿ったエントランスまでの動線は、庭のような緑の歩道にして頂きたいと存じます。歩行者の安全性、快適性が確保されると同時に、1Fの南側執務空間の西陽をやわらげますし執務サポートエリアの快適性に繋がります。庁舎全体のデザイン性にも大きく寄与します。職員の意識や気分が随分と良くなるでしょう。	庁舎棟と南側来庁者駐車場の間に想定していた車両動線を無くし、歩行者動線とするよう見直しました。
8	配置、外構計画	「大村市民憲章の碑」が移設されるとしたら、西側の景観緑地あたりか、庁舎棟内のエントランスかなと思いますが、今の段階で方向性がわかればご教示ください。（パブコメの結果公表時に確定をしていただく必要はございませんが、移設はしていただきたいです）	大村市民憲章の碑の移設については、今後検討します。
9	駐車場	(3)駐車場計画について、「来庁者駐車場はゲートによる管理を行います。」とありますが、有料の想定となりますでしょうか。(県庁同様に、実際に窓口に行くこと減免ありの有料の仕組みがいいのではないかと思います。)	料金設定等の運用については、市役所を利用した場合の駐車は無料などの措置を考えていますが、市役所を利用しない場合の駐車も考えられるため、今後検討します。
10	駐車場	当然検討されているものと思われますが、放置車両や空港利用者が駐車することで周辺の民間事業(駐車場)を圧迫しない対策を実施されますようお願いします。	来庁者駐車場についてはゲート管理を予定しています。 また、料金設定等の運用については、市役所を利用した場合の駐車は無料などの措置を考えていますが、市役所を利用しない場合の駐車も考えられるため、今後検討します。
11	駐車場	来庁舎駐車場が2か所に分かれているのは空き駐車場所を探すのに不便で歩行者と、車の交差は危険です。1か所に集約できるようにお願いします。	来庁者が迷わないように、空き駐車場へは表示灯で誘導することを考えています。 歩行者動線と車両動線の交差については、事故などの危険性を無くすよう安全対策を引き続き検討します。
12	駐車場	車いす駐車場が5台では少ないのではないかと？福祉関係部署が入庁している割に少なすぎると感じる。庁舎直近で確保できないなら、動線がバリアフリーなら離れた場所に確保してもいいのでは？(介助者無しは近くに、介助者ありは来庁者側駐車場など)	車いす駐車場の必要台数については、バリアフリー法等の規定に基づき算定しています。このほか、車で来庁される高齢者や妊婦等のための「広め駐車場」の整備を予定しています。
13	駐車場	育児期の子供連れに優しい動線考慮。政策的に育児しやすい街、庁舎と謳っているなら庁舎内だけでなく車で訪れたところから使いやすくすべきではないか。広場駐車場側か来庁者駐車場の庁舎寄りの入り口から遠い位置(※1)に車いす(又は障がい者)に限定しない、スペースの広いパーキングゾーン(※2)及び屋根施設(車両後方～庁舎入口まで、少なくとも車両後方)を設置してみてもどうか。2F配置予定の子供関係部署があるので、ベビーカーなどが使いやすい駐車場を用意してもいいのではないかと？チャイルドシートに乗せる際も、ドアの開閉を大きくしなくと乗せられないので車イススペースほどではないが、大きいスペースが嬉しい。また、子供連れだとドアを不意に開けられ隣の車にドアバンしてしまいそうで怖いなどの悩みもある。育児期の子供連れに優しい駐車スペースや動線を考慮してほしい。庁舎への近さより、スペースの大きさのほうが優先される声が大きいと思うが、その点は意見聴取などしてもらいたい。 ※1 庁舎入口から遠くは、入口付近は不要な人も止めて、すぐ埋まるので必要な人が使えないため ※2 イケア社の入口付近駐車場(子連れ駐車場)など参考	来庁者駐車場については、車で来庁される車いす利用者等のための「車いす駐車場」及び高齢者や妊婦等のための「広め駐車場」の整備を予定しています。
14	駐車場	・駐車場は南側駐車場で完結できる 設計プロポーザル提案では南側駐車場に220台、身障者が5台です。この数字は基本計画に謳われており、その算出方法はアンケート結果と学識方程式からくるものですが、あくまで現庁舎の位置が影響するものだと考えられます。現庁舎は大村市の人口分布の観点で中心部から離れているので車利用は当然多くなっています。今回、距離的には大村市の中心部となります。バスなどの公共機関を見直せば、市役所へのバス利用客は増えますし、タクシーの利用客も増えると考えられます。すなわち車利用者は減少します。また、大村の現状は車が極端に増え、高齢者に優しい街とは言えません。公共交通機関の見直しは市の急務だと考えます。現庁舎の周囲の駐車場は大村公園前まで入れて合計186台です。将来DXが進むと最盛期の来庁者は更に減少するでしょう。従ってコンビニを別の場所で検討すれば、南側駐車場だけで十分に賅えます。駐車場を二か所に分散すると現状の敷地内動線を考えると、混乱が生じるだけです。確かに高齢者に対する配慮は必要なので、車椅子マークの駐車場に隣接する形で、高齢者優先駐車場を設けたら如何でしょうか。駐車できる条件は高齢者マークが付いている車となります。	現時点で公共交通機関の見直しやDX推進による駐車台数減少を見込むことは難しいと考えています。 車で来庁される高齢者等への配慮からエントランスに近い西側に来庁者駐車場を設けています。 駐車場で混乱や事故が生じないよう表示灯での誘導や安全対策を引き続き検討します。

15	デザイン、景観、環境配慮	外観はスタイリッシュで非常に良いデザインだと感じています。 この外観イメージで特に重要となるのは、各階テラスに設置する樹木だと思います。この樹木の種類や大きさ、そしてバランスで外観のデザイン性が大きく左右されると思います。 テラスに設置する樹木は、外から見える程度に大きさを考慮して欲しいと思います。神奈川県大和市の図書館がすごく良いデザインだと感じています。 ただし、暴風の際などに倒木等で落下するリスクもあるかと思うので、高さ、枝の量、幹の方向を調整しながら設置していただければと考えます。 空港から橋を渡って最初に目にする大村市の顔であり、長崎県の顔となる庁舎ですので、箕島大橋から見える外観デザインには特に配慮して欲しいところです。新図書館のように残念な外観にならないことを祈っています。	各階テラスの植栽については、いただいたご意見も参考に、維持管理のしやすさ、デザイン性、安全性等を考慮しながら検討します。
16	デザイン、景観、環境配慮	外観図にてガラスが多用されている点について、周辺への反射光の影響評価はされているのか？隣接するサンセット通りなど(市道杭出津松原線・市道森園公園線)など道路への太陽光の反射による幻惑の恐れは考慮されているのか？西側(空港側)は特に開けているので時間帯によっては強い反射光が懸念されないか？法規制はないが、公施設であり安全上の懸念がないか検討すべきではないか。(大村市関連施設は、ポート場のナイター施設の直射光が34号線協和町交差点前後で非常に眩しい、県立図書館屋根の強い反射など周辺への光環境への考慮がされていないと感じる。)	ガラスについては、ミラーガラスのような光の反射率の高いガラスは用いず、標準的なガラスを用いるよう考えています。
17	デザイン、景観、環境配慮	・西側駐車場を中止し、当初設計案の通り市の象徴的スポットとする 空港入り口交差点周辺の森園公園、サンスパ、新庁舎との連続性を考慮すると、来庁者だけでなく大村へ初めて来られた方々を迎えるおもてなしの象徴的空間と云えます。黒丸踊りのモニュメントと緑と花、大村桜とアートの場として大村への来客を歓迎したら如何でしょうか。市民が出入りできる親しみある空間を希望します。大村市の顔としての空間デザイン重視で設計して頂きたいと思います。	車で来庁される高齢者等への配慮として、エントランスに近い西側に来庁者駐車場を設けています。
18	周辺整備	サンセット通りへ出る際の右側の見通し確保に注意して欲しいです。スピードを出す車が多い通りなので、出る際に樹木等で見通しが効かない場合、出合頭の事故が発生する可能性があると考えています。 サンセット通りからの右折進入は、渋滞等が発生しなければ良いのですが、運用開始後、公園やプールに入る車と重複する可能性もあるので、状況を見ながら、場合によっては高校側からの入口に限定しても良いのではないかと感じます。	周辺道路については、新庁舎の設計業務と併せて検討を進めています。
19	平面計画等(1階)	総合案内のスペース感が図面では分かりませんが、単に1名の職員が施設の位置を案内する程度の機能を持たせる程度である様に見えます。 1名で待機するのは労度も高く人的能力的にも勿体ないと思われます。 窓口(執務室)の入ってすぐの見易い一角に「総合案内」を設置し、執務をしながら来訪者への施設の利用案内や手続きに関するチェックリストの配布・説明等を行う方がより利便性が高く有功・有益な案内業務が実施できるのではないかと考えます。	市民が「迷わない窓口」を目指し、総合案内(フロアマネージャー)を配置することとしており、適切な位置に総合案内を設けています。
20	平面計画等(1階)	エントランスの総合案内所の位置について、入口に近すぎる。来客対応が多い場合は案内に用事の無い人が通りにくい。	総合案内と正面玄関の風除室との十分な距離を確保しています。
21	平面計画等(1階)	メインの階段が閉鎖的。オープンな階段にして、健康な人は1,2階へは階段へ導くように。	階段については、庁舎棟南西の階段を開放感のある階段とするよう検討します。
22	平面計画等(1階)	・エントランスを吹き抜けにし圧迫感を解消し、大村モールを再検討する 安井設計の設計プロボ時の良さが最も崩れているのはこの部分です。人と街と自然が調和し未来に羽ばたく庁舎。人に優しいフレンドリーな庁舎。この2点がプロボ時の設計コンセプトの核だったはずです。フレンドリーの意味は子育て世代や高齢者が利用しやすい庁舎という事です。その為に1～2Fを見通しよく吹き抜けにして、心地よい空間に設計されていました。ところが基本設計案を見ると吹き抜けも大村モールも無くなっていました。吹き抜けを無くすと7ページのパースに描かれた2Fまでの一体型ガラスに何の意味があるのでしょうか。逆に西陽の熱がこもって上昇気流も起こらず、暑いだけだと感じます。自然換気や熱効率も悪いのではないのでしょうか。また現庁舎よりエントランスは圧迫感があるように思えます。吹き抜けをやめ床面積を増やされたのは、会議室、執務空間の拡大と、コスト削減でしょうが、投資効果として優先順位を考えるべきです。今後50年、この庁舎が続くとすると吹き抜けによる市民、職員の気分の違いによる効果が大きいと感じます。2Fまでは市民と関係の深い部局が配置されています。市民が1～2Fを行き来しやすく、かつ職員にとっても1F、2Fが繋がりが仕事の見える化する事で他部門とのコミュニケーションが活性化されます。電子化、ペーパーレス化が進み働き方が変わる中、執務空間を増やすより市民の為に吹き抜け、大村モールを優先した方が、遥かに良さそうです。	吹き抜けについては、市民、職員の転落防止や、執務面積等確保のため、設置の予定はありません。 また、開放感を考慮し、1階の天井高は2階以降と比べ、高くしています。 各階ロビーについては、打合せスペースやキッズコーナーなどを設置することとしています。
23	平面計画等(1階)	・2階に上がる吹き抜け階段は、オープンに大きめに設計する 市民説明会で「2Fへの階段が小さい。エントランスが狭い」という意見がありました。この意見には上記のような意味が含まれています。同時に現庁舎でまず目を引くのは2Fへ上がる象徴的な階段です。この空間が大村市役所の顔になっていて、これまで良いと思われたから、そのような意見が出たのだと感じます。もう一点、仮にゲリラ豪雨で急激に1Fが水に浸かったとします。大勢の人が二階へ避難すると想定すると現設計では危なくないでしょうか。諫早市役所のような大きいだけの吹き抜けは必要ありませんが、市民の安心、安全、かつ危機回避の観点からも、オープンな吹き抜けと、それと連動する大きめの階段は必要かと存じます。	階段については、庁舎棟南西の階段を開放感のある階段とするよう検討します。 吹抜けについては、市民、職員の転落防止や、執務面積等確保のため、設置の予定はありません。
24	平面計画等(2階)	・2階の通路まで「大村モール」の意味合いを持たせ1F同様の広さにする。 2階は子ども政策課や教育委員会や水道局、観光、商工課などと、かなり人の流れは多いと感じます。福祉は別ですが1階は市民、税務等、事務手続きが多く、寧ろ2階が市民と交流し共創していく場だと思えます。少なくとも市民と職員の打ち合わせスペース、情報発信のスペースが必要だと思います。大村モールは市民との交流の場、3階は必要ないですが2階は吹き抜けと合わせて再検討を望みます。	各階の窓口カウンターは動かせる仕様としており、必要に応じて調整します。 吹抜けについては、市民、職員の転落防止や、執務面積等確保のため、設置の予定はありません。
25	平面計画等(2階)	・人の流れが多い狭い通路にキッズコーナーは危険である 上記と関連する事です。長崎市役所で2F通路の中央にキッズコーナーを設けているのは、職員の誰からでも子どもが見える位置だと安心だという意見が市民からあったからです。その為に通路は広く取り、かつカウンターラインをキッズコーナーを囲むように設計されています。私自身、これが最善策とは思いますが、大村新庁舎の場合は特に通路は狭く、しっかりしたキッズコーナーにはならないと思います。中途半端にキッズコーナーを作り、もし子どもが飛び出したら危ないと思います。通路を広くするか、場所を変えるか検討が必要だと感じます。キッズコーナーを囲む囲いの形状が難しく、倒れる可能性、歩行者がつまづく可能性があります。	各階の通路については、打ち合わせスペースやキッズコーナーを設置しても安全に通行できる幅を確保しています。
26	平面計画等(3階)	サーバー室など重要保安施設の場所は大っぴらに描くべきでないと思います。2F以上の浸水災の恐れがない場所に・・・などぼかして記載すべきは？サーバー室出入口が2か所あり、1つは廊下奥の人がない場所でセキュリティ上好ましくないのではないかと。基本的に出入りする運用状態は問題なので、窓はなく、出入口は少ないほど良いと考えられています。	サーバー室の出入口については、機器搬入搬出等を考慮しており、平常時は常時施錠するなどセキュリティを徹底します。
27	平面計画等(4階、5階)	ロビーと屋上テラスは大変楽しみにしています。 多くの人がゆっくり寛げるよう、ベンチを多く設置して欲しいです。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
28	平面計画等(4階、5階)	議員数25人に対して広すぎるように思うのですが。	議会関係諸室については、必要な規模、数を配置しています。
29	平面計画等(倉庫棟)	2階に上下水道局が入るようですが、2階に資材倉庫は必要ないのですか。	上下水道局の資材倉庫については、倉庫棟1階に配置しています。
30	平面計画等(倉庫棟)	予算があれば別棟の屋上に大きな天井の高い大きな部屋があると、展示会、演奏会、何かの時、資料が増えて倉庫が足りないときの役に立つのではないのでしょうか。	倉庫棟の階層を増やす予定はありません。
31	平面計画等(倉庫棟)	・北側、東側をもっと魅力的にしたい。倉庫棟をやめ価値ある空間にしたらどうか、例えば芸術文化棟 そもそも倉庫棟なる名称の建物が必要なのでしょうか。考え方として建物の中に書庫、倉庫を設ければ良いのです。団体事務所と多目的会議室が子供達のために設計されていますが、例えば芸術文化棟、或いは市民交流棟など市民情報の発信や大村文化の発信、観光情報の拠点、遊びの場などの文化交流機能を持たせる事で、庁舎全体の活性化を図ったら如何でしょうか。その方がワクワク感があります。市民の足を庁舎に向けさせられます。その流れで東口も東側玄関として検討できます。そうすれば庁舎全体が魅力的になり市民の愛着も湧きます。他の自治体で庁舎を複合施設化する事で街を活性化させた例は多くあります。芸術文化棟などすると建設費用が膨らみますが、教育委員会や観光課などを芸術棟へ移し、本庁舎の規模を縮小したらある程度、調整できると思えます。面積を比較すると倉庫棟で全体の20%強あります。建築費の20%以上を書庫、倉庫にかけるとは実に勿体無いです。果たして昔の書類を何回、検索するのでしょうか。また2階に書庫を広く取るには床の耐荷重を相当上げる必要があり、更にコストは上がっている筈です。書庫に関しては市の他の施設の活用や、保存すべき書類なのか見直す必要もあります。少なくとも文書量は半減できると考えます。保管文書だけでなく保存文書の削減も検討してください。基本設計案は倉庫棟も本庁も全く同じ規格に思えます。であれば本庁舎～倉庫棟間の通路を無くし合体させ、車の動線を東側に持って来れば建築費は安く抑えられます。長方形の長辺が更に長くなるとバランスは悪いですが、何にしろ北側、東側を魅力的にするアイデアを期待します。歩いて来庁される方は殆どが東側から来られます。表口、裏口の感覚でなく西玄関、東玄関の感覚でお願いします。	倉庫棟については、書庫・倉庫だけではなく、現在、こどもセンターで行っている1歳6か月児、3歳児健診を行う多目的室などを設置します。
32	平面計画等(倉庫棟)	別棟1階に資材倉庫は必要ないのでは。	資材倉庫については、搬入搬出の動線を考え、倉庫棟1階に配置しています。
33	会議室、相談室	相談室の大きさが分かりませんが、間仕切りはプライバシーの関係もありますが、どの様に考えられているのかわかりません。	相談室については、関係課への調査を基に必要な数や大きさを配置しています。 また、プライバシーに配慮し、防音対策を図ります。

34	会議室、相談室	会議室、相談室の間仕切りが多すぎるように思います。	会議室、相談室については、現在の会議頻度や利用人数などの調査を基に、必要な数や大きさを配置しています。 また、一部の会議室はフレキシブルに活用できるよう可動間仕切りにしています。
35	会議室、相談室	・WEB会議が増えた為、会議のあり方、会議室を抜本的に見直す。 コロナ以降、WEB会議は働き方の中核的存在になっています。一般的な打ち合わせ報告会であればWEB会議で十分賄えます。アイデア出しや組織の結論を出すなどはやはり集る意味合いがあります。したがって会議室は数、規模、質ともに見直し会議の目的の為の設備等を早い段階から検討すべきと考えます。	会議室については、Web会議を含めた現在の会議頻度や利用人数の調査を基に、必要な数や大きさを配置しています。
36	会議室、相談室	エントランス脇の会議室の用途がよくわからない。平常時の使用方法を考えてください。何も使用していないときはエントランスロビーと使用するか、発表会、演奏会に使うとか用途を示してください。	エントランスホール近くの会議室は、会議室としての利用を基本とします。また、期日前投票所としての利用などを予定しています。
37	会議室、相談室	東側相談室が小割の部屋になっていますが使い勝手を考えると、これだけの小割にする必要があるのですか。	相談室については、関係課への調査を基に必要な数や大きさを配置しています。
38	機能、設備	長崎県庁1階のにある『県政資料閲覧エリア』における「県政情報コーナー」と「行政資料コーナー」のイメージで、大村市に関する行政資料（審議会等の議事録や、市の条例など）が閲覧できるスペースの確保と機能の創造をお願いします。公文書館機能は「ミライON」の方にお任せするとして、行政の取組みを信じ、また、公共の担い手として支える市民の力を創造する苗床を、本庁舎の中に機能的に配置していただければ幸いです。 可能であれば、そのスペースは総務課が監査委員事務局のそばにおいていただき、市政に関心を持った市民が、心豊かな市職員に気軽に相談できるような空間デザインをご検討いただけますと幸いです。	現在、大村市役所本庁舎1階の市民110番に市政情報コーナーを設置しており、各種資料や統計、計画などの行政資料を閲覧できるようにしています。 新庁舎移転後も引き続き市政情報コーナーを設置するよう考えています。 また、相談しやすい空間づくりについては、引き続き検討します。
39	機能、設備	現在、「法務局の出張所」「金融機関のATM」「収入印紙が買える売店」がありますが、新たな庁舎には、概ね、どのあたりに整備されそうですか。（パブコメの結果公表時に確定をしていただく必要はございませんが、設置はしていただきたいです）	大村法務局証明サービスセンター、ATM、収入印紙については、設置・取扱いができるよう引き続き検討します。
40	機能、設備	・コンビニは庁舎内に設置して欲しい ユニバーサルレイアウトや自然エネルギー、感染対策は当然であり、木材利用で居心地を良くする事も人に優しい庁舎だと思えます。しかし、本当の意味での人に優しい庁舎とは弱った人目線で細かく考える必要があり、防災とはまた違う観点が必要なのです。街中にある長崎市役所や諫早市役所は庁舎内にコンビニがなくても何とかなります。県庁は街中ではなく建物も敷地も大きいので庁舎内にコンビニを設けています。大村新庁舎の立地条件は県庁に近いのです。だから駐車場の一部をコンビニに計画されたのでしょうか、屋内と屋外の意味合いの違いは大きいと思えます。例えば歩いて庁舎に来られる方や森園公園にいた人が、気分が悪くなったり熱中症になりかけたとします。こんな時、逃げ込む場所はクーラーが効いてトイレがあってロビーで休憩できる市役所なのです。コンビニが近くにあっても長居も休憩もできません。これでは弱った人は回復できないでしょう。防災の拠点としないのは結構ですが、建築場所を街中から外した以上、こういう観点を考慮する必要はあります。気分が悪くなった人が自力で回復できる確率は、庁舎内にコンビニがあれば高くなります。職員が気づかない所でこういう弱者が頑張っている事に配慮すべきであり、人に優しい庁舎というテーマでは職員のホスピタリティが求められます。庁舎内のコンビニは来庁者、職員全ての人が助かる苦です。私事です最近、大村から福岡まで歩いてみました。苦しくなった時、助けてくれたのは新しくなった神崎市役所でした。その時は自販機でしたが、コンビニがあれば完璧だと思った経験があります。是非、検討頂きたく存じます。	敷地内の安全確保等の観点から、駐車場の全体的な見直しを行い、コンビニはエントランスホール近く(庁舎内)への誘致を予定しています。
41	機能、設備	2階ラウンジがありますが、厨房設備を入れるのであれば、閉庁時も夜間、休日も利用できるようにしないとテナントの誘致は難しい。森園公園の利用者も呼び込めるように、外階段を作り直接利用できるようにしてください。	2階ラウンジについては、事業者が見込めず、困難な状況であることから、テナント誘致の予定はありません。
42	機能、設備	1階に障がい福祉課・長寿介護課が移るとのことが記載されています。現在、福祉部門が「本庁舎」と「プラットおおむら」に分かれていて、当事者の方とそのご家族の方・ご支援者の方が手続きにより行き来していることは承知しており、行政の手続きが庁舎内で一本化できることについては大きな改善につながると思います。一方で、大村市社会福祉協議会が「プラットおおむら」に残る場合、結局、福祉ニーズのある方が新たな庁舎と「プラットおおむら」を行き来することになる(むしろ移動距離が大きくなる)ということが懸念されます。 これを回避するために、以下の①～③(あるいはそれ以外)の選択肢が考えられると思います。 ①大村市社会福祉協議会にも本庁舎に全面的に移転していただく ②「プラットおおむら」に「市まちなか事務所(仮)」のようなサテライト・分室を設置する ③大村市社会福祉協議会に、本庁舎に分室を設置していただく 大村市の公共空間における福祉専門職(行政＋社協等)の意見聴取をしていただいたり、福祉ニーズを必要とする方々に属性・世代別に意見聴取をしていただいたりなどして、「本庁舎を建てたが、福祉難民が発生した」等の事態が発生しないよう、SDGs的な発想で次世代のために可能な限りお進めをお願いします。	大村市社会福祉協議会との連携を密に図り、サービスの質が低下することのないよう取り組みます。
43	窓口	・カウンターラインは市民交流の場という観念で構築してほしい カウンターは受付、ロビーとオフィスの区切り、セキュリティライン等の意味合いがありますが、総じて考えると市民と職員の交流の場です。交流の意味合いが変わってきている現在、カウンターラインは大きな課題となります。ハイカウンターを極端に減らし、ローカウンターにして相談できるようにすれば、相談室の数は減らせます。その際、市民のプライバシーと執務空間のセキュリティバランスを如何するかは課題はあります。優先すべきは 市民に対するホスピタリティだと考えます。受付方法とサインを連動させれば、ハイカウンターは少なく済みます。武雄市ではカウンターをテーブルにして変化にも対応できるようにしています。1Fもそうですが、カウンターラインの既成概念をとり、市民との交流、DXなどの社会の変化にフレキシブルに対応、この二点を重点的に考慮頂きたく存じます。カウンターの形状によって執務空間のレイアウトや機能も変わってきます。	窓口については、什器の高さを抑えることで、見通しがよく、市民と職員の双方が声をかけやすいようにします。 また、カウンターについては、必要に応じて配置を変えられるよう考えています。 相談対応については、各階ロビーや相談室で行うこととしており、相談室の数や規模は、個室の必要性がある相談件数を調査し、適正な配置としています。
44	防災、災害対応	災害対応時に災害対策本部で勤務する職員用のシャワーや仮眠のためのスペースや設備について考えられておりますでしょうか。 仮眠室は、対策本部となる会議室の近傍に必要と思われます。 通常は執務室や会議室として使用するにしても、仮設ベッドや間仕切り等の備品を用意しておき、そのように使用するプランが必要だと考えます。 非常時には、市長や副市長も泊まり込みとなる可能性もあると思えますので、各執務室において仮眠ができるよう考えておく必要もあると考えます。	新庁舎では、災害時に利用できるようシャワー室や仮眠スペースを設けることとしています。
45	防災、災害対応	災害対策本部には、下記の機能や設備が必要と考えます。 ①状況を表示できるパソコンと連携した大型スクリーン(3面程度) ②TVやネットから情報を収集でき、それを表示できるシステム。 ③各出張所や小中学校等指定避難場所をオンラインで結べるテレビ会議システム。 ④県や必要なら国と情報交換ができるシステム。 ⑤可能なら市内の自衛隊の司令部とテレビ会議ができるシステム。 ⑥会議の内容を記録・録音できるシステム。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
46	防災、災害対応	能登半島地震で倒壊したビルの二の舞とならない様になしかりした(杭)基礎となる様、念押し・監督をお願いします。	耐震性能の高い庁舎とし、大地震等の災害発生時においても、市民や職員の安全を確保し、防災拠点としての機能を維持できる安全性の高い庁舎とします。
47	執務室	・課長席のひな壇は無くし、ワークステーションに組み入れ組織力を強化する。 長崎県庁は現在この形です。課長は職員が目指すステイタスだからひな壇が良いと言う意見もありましたが、最終的には現場のチームワークを優先しました。基本設計案の執務空間で課長席をひな壇でレイアウトすると窓側は有効に使えません。集中したり気分のON-OFF、リチャージ等、仕事の質を上げる為の執務サポートエリアとしたら如何でしょうか。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
48	執務室	・テーマ、課題別にチーム編成できるようにレイアウトに柔軟性、多様性を持たせる 社会がこれだけ多様化すると一組織では対応できなくなります。テーマ、課題別に各課から選抜された人でチーム編成され、その課題に取り組んだ方が有効なケースは多くあります。会議だけの連携ではなく、プロジェクト用にレイアウトできるオフィスのフレキシブル性を考慮いただきたいと存じます。	執務室については、ユニバーサルレイアウトとしており、必要に応じてフレキシブルに対応できるようにしています。
49	執務室	・若者と高齢者では明らかに働き方は違うので、上手く共存させる。 若者は書類があると仕事が出来ないと言います。高齢者は書類がないと仕事が出来ないと言います。この2分子を執務空間で共存させ、時間と共に若者の形へとスライドさせるフレキシブル性を持たせたオフィスを構築したら如何でしょうか。変わる事を押し付けるのでなく、どちらも真の姿で尊重すべきだと考えます。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
50	財源	本庁舎の建設並びにその前段におけるプールの除却、そしてその後の旧庁舎の解体に関しては、公共施設等適正管理推進事業債の活用はございますか。 そのほか、ポート収益も含めて、財源の内訳(社会資本整備総合交付金をはじめとした国・県の補助金の有無や、交付税措置など)もあわせてお示しいただけると幸いです。	新庁舎建設等の財源については、公共施設等適正管理推進事業債も含め、国の補助金や交付税措置が有利な起債を活用するよう引き続き検討します。
51	公共交通機関	バスの運行経路を考えてください。	路線バスの経路については、引き続きバス事業者と協議し、調整します。

52	職員駐車場	「市民説明会」で『施設内には職員用駐車場はない。』との説明でしたが、最低限の数は必要ではないでしょうか。 妊婦・障害者・一時的な病気やケガで歩行が困難な者・緊急的な業務で出勤した者等に対しては施設内の庁舎により近い場所に駐車場を確保する必要があると考えます。 「広場駐車場」は、最初からその様な職員用駐車場としておいて、駐車場全般の運用状況を見て再検討しても良いのではないのでしょうか。 従来分散していた各部門が集約されることで来訪者の駐車場所要数は上がるとは思われますが、現庁舎や各部門の来訪者数の実績や新庁舎への移転後の実績を見て職員用駐車場について適切に検討・見直しを行うことが適当であると考えます。 広場駐車場を職員用としておけば、説明会参加者から懸念が示された歩行者と車両が交差するという事象も無くせるのではないのでしょうか。 ちなみに、来朝者用駐車場の出入り口の位置を再検討すれば、玄関前での歩行者との交差は解消する者と思われます。 なお、新庁舎運用開始時に広場駐車場を来庁者用にしておいて使用実績が少ないからと言って職員様に転用すれば、市民からの反発が予想されます。 最初から限定的な優先度の高い職員用としておき、必要時やイベント時には一般用にも開放しますとしておいた方が円滑な運用になると思われます。 従業員用の駐車場を確保するのは民間の事業者でも当然のこととして実施しておりますので、働きやすい環境づくりのためにも遠慮なく実施する事項と考えます。	職員駐車場については、周辺の市有地や民間駐車場の活用を引き続き検討しますが、配慮が必要な職員については、来庁者用駐車場を活用することを考えています。
53	職員の働き方	・生産性を上げるための選択型オフィスの検討 従来のように自席と会議室だけで仕事を完結するスタイルでなく自ら動くことで仕事の効率、エンゲージメントを上げられる工夫される事を提案します。集中したい時は自席から離れる。2時間作業すると効率は落ちるので気分を切り替えたいなど、これまでもされているとは思いますが、この方向性を明確に打ち出す事が肝心かと思えます。意外にやれてない人が多く、生産性は知らぬ間に落ちているというケースが多いものです。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
54	職員の働き方	DXが進めば来庁者は減少します。この意味で市民が市役所に行かなくて済むのは助かります。事務手続きは効率を上げて、空いた時間はお互い別の事が出来ます。だからと言って市民に来てほしくないという理屈にはならないと思います。だからこそ別の用で市民には市庁舎に足を運んでもらいたいのです。同時に職員は積極的に外に出て市民と交流してほしいのです。そうでないと街は良くならないと考えます。住民票などは職員から見ると受動的な作業であり、このような事務手続きは効率を上げ、逆に職員には街の為になる課題を自ら見つけ能動的に提案、解決してもらいたい。受動から能動への切り替えこそが職員の方の働く意識に最も重要だと感じます。都市部と地方では、そもそも課題が違います。渋谷区役所と中野区役所を比較すると中野が区民に寄り添っていた印象でしたが、双方とも本質は効率、正確、機能が求められているように感じられました。しかし地方は効率以上に質が求められます。すなわち豊かさです。その為には知恵が必要です。アイデアを出す為に情報が必要です。情報を得るために人との交流が求められます。正直に申しますと歴史、文化、自然豊かな大村の魅力は今一県外に発信できていないと感じます。その為にも市民と職員が交流し知恵を絞って、そのアイデアを市が如何、生かすかにかかっていると思います。是非、新庁舎は市民に限らず県外からも多くの人に来て頂き、職員との交流、共創から大村をどんどん魅力ある街にしてもらいたいと考えます。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
55	職員の働き方	・職員の働き方、執務空間についての要望 都会と地方で自治体の在り方は変わると思いますが、地方でも市の財政状況や人口減少の違いによっても随分と違います。大村市のように恵まれている市や町はあまりないのではないのでしょうか。街の復興がうまく行かず財政が厳しい自治体が新庁舎にかけるとき、準備室は自分達でなんとかしようという意気込みでした。「既存の自治体の執務空間は全く参考になりません。自分達は民間から良い点を学ぼうと思ってます」このように断言した自治体もあります。大村新庁舎で二階に入る部局は全てABW(自席がないフリーアドレス)にする検討をされていました。執務空間の検討はこれから本番でしょうが、新庁舎移転が最高の働き方改革、業務改善、意識改革のチャンスだという認識でお願いします。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
56	新庁舎整備の進め方	・新庁舎作りにできるだけ多くの職員の方に参加いただく。 準備室だけでなく若い職員や高齢の経験者、男女の違いにより理想のオフィスは全く違います。できるだけ多くの職員に参画いただき、多くのアイデアをまとめていく事が良い執務空間への近道だと思います。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
57	新庁舎整備の進め方	・ワークショップを開催し働き方のコンセプトを打ち出す。 働き方のあるべき姿を考えた時、繋がる事、自分事、この二点は必ず出てきます。県庁もそうです。職員同士、職員と市民、他部門間で繋がる。上司からの指示でも実行する以上は自分に責任がある。繋がる、自分事に反対する人はいません。人が人間として生きて行く形だからです。だからコンセプトとして成り立ちます。この事が意識の根底にあれば、様々な個人のアイデアが組織のアイデアへと収束して行きます。オリジナルのコンセプトを空間設計に活かしたら如何でしょうか。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
58	新庁舎整備の進め方	・文書削減に取り組む。一人当たり1.7fmを目指す。 執務空間にユニバーサルレイアウトを採用すると一人当たり文書量は2.5fmまで削減しないとレイアウトは出来ないと思えます。現状は一人当たり5～6fm位に見えます。先を見越し移転までに1.7fmを目指したら如何でしょうか。 ＊不要文書は廃棄する ＊文書は私物化せず課で共有する ＊分類する ＊文書に流れを作る ＊書庫は一括管理する 上記がファイリングの基本ですが、実施すれば仕事が整理され、質もスピードも改善され生産性は上がります。電子化、ペーパーレス化の近道です。逆に文書管理を構築せず電子化に踏み切って行き詰まった自治体は多くあると思えます。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
59	新庁舎整備の進め方	・執務空間のあり方の合意形成を図るため三つの軸を明確にする。 時間軸 プロジェクトの進行フローを意識しながら意見を収束させる 空間軸 縦・意思決定する組織の決裁基準を明確にする 横・文書削減、情報システム、運営など分科会、専門部会を立ち上げる 思考軸 コンセプトによりベクトルを揃える事で、アイデアの収束を図る	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
60	新庁舎整備の進め方	・意識醸成が成功するかしないかの要となります。 最も有効なのは全ての職員に新庁舎作りに参画して戴く事です。それが無理であれば意識醸成が重要になります。従来の働き方をしていた人が、いきなりフリーアドレスになりましたと言われても有効に働けないのです。できるだけ執務空間の形が決まっていくプロセスの情報発信を職員向けにする必要があると思います。モックアップは有効な手段となります。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
61	新庁舎整備の進め方	・電子化、ペーパーレス化の推進 進められていると思いますが、電子化は組織として進める物で、ペーパーレスは個人の意識により働き方の工夫で進められる物です。共通する点は従来紙で仕事が回っていたものを、できるだけ電子に切り替える事です。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
62	新庁舎整備の進め方	・「外部からの智慧を吸収しながら、自らが進化していく庁舎」 これが新庁舎のあるべき姿であり、大村市が永続的に発展して行ける形だと考えます。その為に職員の方には、主体性、積極性を持って能動的に課題に取り組んで行ってもらいたい。既存概念を外すと意外にアイデアは転がっています。新しくなる市役所には、このような事を期待しています。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
63	その他	・森園公園と市民プールの繋がりによる市民のデートスポットにする。 市民説明会でも森園公園と市役所の繋がりや、市民プールの在り方の質問が多く、想像以上に森園公園の存在価値を実感しました。公園から市役所への信号、横断歩道の設置ができなければ、空港入り口の交差点をスクランブル交差点にしたら如何でしょうか。歩行者と車を完全分離すれば、サンスパからダイレクトに市役所へ渡られ、必然的に森園公園との繋がりもスムーズです。その為にも西側駐車場は中止すべきと考えます。浄化センター余熱利用の市民プールですが、新聞に会議室を作ると書かれていました。会議室よりプールの後はスパ、その後はカフェではないのでしょうか。森園公園のロケーションを生かした幅広い年齢層の究極のデートスポット、その様な魅力ある施設と公園にして欲しく思います。もっと言えばサンスパの場所はホテルだったら相乗効果はさらに大きいでしょう。泳いだ後、お風呂に入って疲れを取り、のんびり公園を散歩した後、夕陽や海を眺めながらゆっくりとコーヒータ임と洒落込んだら最高でしょう。是非、お願いします。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
64	その他	森園公園にプールの整備を考えているようですが、せっかく市民、市外者にも認知されるようになったので、焼却場の整備の配置を考えて、できるだけ公園が残るようにしてください。建築設計者としての提言です。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
65	その他	事業スケジュールのみで、市民プール解体に触れているが、市庁舎に伴い廃止される施設であり、市民が直接利用する施設が無くなることにほぼ触れない点も好ましくない。市庁舎建設のために解体され、今後、移転か廃止かわかりませんが、関連情報として今後の市民プールの開発方針やその提示時期などもう少し踏み込んだ情報を示すべきでは？	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

66	その他	テレビ放送等で他市町村にある「何でもやる課」の様な担当業務を紹介しているのを見た事があります。そういう部署があれば市民は助かるのかなと思いますが如何でしょうか。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
67	その他	「プラットおおむら」から障がい福祉課・長寿介護課が離れることになりますが、空くスペースの有効活用をお願いします。 例えば、産業支援センターの附属施設(個室で区切った固定利用可能かつ月単位で利用できるようなインキュベート施設)の拡充や、市民協働を推進するNPO支援センター(福祉及び奉仕型ボランティアに特化した社協運営のボランティアセンターよりも非営利型の事業性がある公益を担う存在を支援するもの)などはいかがでしょうか。 また、諫早にある、当市エリアを管轄する「障害者就業・生活支援センター」の大村分室や、長崎にある、当市エリアを管轄する「地域若者サポートステーション」の大村分室の誘致などをご検討いただき、大村で生きづらさを感じ、また、居場所と仲間がない若者はじめ社会に参画する上で障害を有する方々の支えになる拠点として「プラットおおむら」を有効にご活用いただきたく思います。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
68	その他	今回のパブリックコメントについては、表紙にあるとおり、「基本設計」の案の段階において市民に意見聴取をしていただいているものと受け止めました。「(1)事業スケジュール」の欄において、「基本設計」ののち、「実施設計」においても、その案の段階でパブリックコメントがあるものと期待していますので、パブリックコメントの実施予定を明記していただければ幸いです。(可能なれば、12ページの表において、基本設計と実施設計が一体化されていますが、基本設計と実施設計を分けて、それぞれにおけるパブリックコメントの実施予定時期を明記していただけるとありがたいです。)	実施設計については、パブリックコメントの実施予定はありません。
69	その他	本庁舎建設に伴い、大村市公共施設等総合管理計画の改訂が必要になるのではないかと思います。その方向性・時期がわかればご教示ください。 あわせて、個別施設計画(施設カルテ)を市ホームページに掲載していただくことをご検討いただけますと幸いです。市政や市の財政に興味を持つ市民が増え、次世代のために本庁舎そして市内のあらゆる公共施設について、愛着を持って大事に使おうと思う市民が増えると思います。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
70	その他	非常に良い基本設計(案)で楽しみにしています。事業に携わった職員の方は色々大変だったと思いますし、これからも大変だと思いますが、頑張ってください。応援しています。そして、物価上昇等で建設費用が増加したものの、適切に予算措置した市長・議会に感謝と敬意を表します。	引き続き新庁舎が市民の皆さまにとって利用しやすい、訪れやすいものとなるよう努めてまいります。